

令和2年度 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 事業報告

【総括】

今日、進行する少子高齢化や人口減少、地域住民のつながりの希薄化による支え合いの仕組みの脆弱化など地域社会が大きく変化する中、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響も重なり、生活課題・福祉課題は複雑多岐にわたっております。

本会は、このような生活課題・福祉課題を積極的に捉え、地域における日常的な見守り・交流、支え合い・助け合いなど、多様な地域福祉活動を推進していくことが極めて重要であると認識し、広川町地域福祉計画・広川町地域福祉活動計画を行動指針とした、令和2年度本会事業計画に基づきまして、だれもが安心して健やかに暮らし続けていける「ふくしのまちづくり」の実現に向け、事業に取り組んでまいりました。

①広川町の地域福祉計画と連携する民間の活動計画である「第2期広川町地域福祉活動計画」の策定に向けて策定委員会を設置し、第1期計画における活動の効果と課題の検証、これからの民間による地域福祉の推進について協議を重ね、新しい基本理念を「わたしたちが共に生きていくために一人ひとりの『気づき』と『工夫』で創り出す安心できる暮らしの実現」とする第2期広川町地域福祉活動計画を策定いたしました。

②地域包括ケアシステムの構築・地域共生社会の実現に向けた取り組みといたしましては、「買い物支援」「地域の寄り合い活動」等の推進について、地域や町協議体等において協議を重ねてまいりました。結果、行政と企業の協定締結に基づく「移動店舗販売」の開始、介護予防サポーターとの協働による地域での介護予防活動「地域通いの場」の実施など、住民主体の地域福祉活動の充実につながっています。

③生活困窮者支援、権利擁護の取り組みといたしましては、生活福祉資金貸付事業を柱とした生活困窮に関する相談・支援、緊急的な食料支援、判断能力が不十分な人の暮らしを支援する日常生活自立支援事業に取り組み、公的な福祉サービスへのつなぎ、専門機関・支援団体との連携の強化に努めました。とりわけ、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少や失業等の理由で、生計の維持が困難になった世帯に対し、一時的な生活資金の緊急貸付を行う「特例貸付」の相談及び申請窓口として、体制を強化し対応してきたところです。

④在宅福祉サービス事業につきましては、安定的且つ質の高い在宅福祉サービスの提供体制の構築を目指し、町受託事業である介護予防事業と合わせて、総合的な在宅福祉サービスの提供体制づくり、地域に根差した介護サービスの創造に取り組んでまいりました。福祉全般を担う本会において、特に在宅での高齢者等の暮らしを総合的に支援する介護事業に取り組む意味は大きく、引き続き、在宅福祉サービスの充実に取り組んでまいりたいと考えております。

⑤災害支援等に関する取り組みといたしましては、令和2年7月豪雨により、被災した大牟田市が開設した「大牟田市災害ボランティアセンター」に本会職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援に取り組みました。

本会におきましては、今後とも、引き続き、広川町の更なる福祉の充実・発展のため、多種多様化する地域や住民の福祉ニーズ、その他あらゆる生活課題・福祉課題、役割を積極的に捉え専門性を持って対応し、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいります。

【実施事業の内容】

1. 法人運営事業

(1) 役員会等の開催

社会福祉協議会の基本的性格としての、非営利性、公共性を重視し、役員及び評議員と連携し、組織体制の強化に取り組みました。

①理事会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 2 年 7 月 8 日 (水) ※書面による決議	提案事項 1 社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員候補者の推薦 (案) 及び決議の省略の方法による評議員選任・解任委員会の招集について 提案事項 2 令和元年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 2 次補正予算 (案) について 提案事項 3 令和元年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 3 次補正予算 (案) について 提案事項 4 令和元年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について 提案事項 5 決議の省略による社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員会の招集について
第 2 回	令和 3 年 3 月 25 日 (木)	議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 1 次補正予算 (案) について 議案第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 2 次補正予算 (案) について 議案第 3 号 令和 2 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 3 次補正予算 (案) について 議案第 4 号 令和 3 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会事業計画 (案) について 議案第 5 号 令和 3 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計予算 (案) について 議案第 6 号 社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員会の開催について

②評議員会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 2 年 7 月 17 日 (金) ※書面による決議	提案事項 1 社会福祉法人広川町社会福祉協議会理事の選任 (案) について 提案事項 2 令和元年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 2 次補正予算 (案) について 提案事項 3 令和元年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計第 3 次補正予算 (案) について 提案事項 4 令和元年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について

第 2 回	令和 3 年 3 月 31 日 (水) ※書面による決議	提案事項 1	令和 2 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 会計第 1 次補正予算 (案) について
		提案事項 2	令和 2 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 会計第 2 次補正予算 (案) について
		提案事項 3	令和 2 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 会計第 3 次補正予算 (案) について
		提案事項 4	令和 3 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 事業計画 (案) について
		提案事項 5	令和 3 年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 会計予算 (案) について

③監査、検査

回	開催日	内 容
第 1 回	令和 2 年 6 月 24 日 (水)	令和 2 年 1 月～3 月分検査、令和元年度決算監査
第 2 回	令和 2 年 11 月 6 日 (金)	令和 2 年 4 月～6 月分検査
第 3 回	令和 2 年 12 月 16 日 (水)	令和 2 年 7 月～9 月分検査

④評議員選任・解任委員会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 2 年 7 月 20 日 (月) ※書面による決議	議案第 1 号 社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員の選 任 (案) について

(2) 社会福祉法人の公益的取り組みの推進

社会福祉法人の公益的取り組みとして、複雑多岐にわたる生活課題の解決に向けて、社会福祉法人が連携して、その課題解決に一体的に取り組む体制づくりを進めてまいりました。

また、福岡県内の社会福祉法人が連携・協働した生活困窮者等支援「ふくおかライフレスキュー事業」に取り組み、制度の狭間にある生活課題・福祉課題の解決に向けて取り組みました。

①町内社会福祉法人の連携・協働による公益的取り組みの体制づくり

■広川町社会福祉法人連絡会の取り組み

- ・広川町社会福祉法人連絡会における Web 環境等に関する調査
- ・法人連携事業における ICT 技術の導入 (Wi-fi 整備、タブレット機器等の導入)
- ・広川町社会福祉法人連絡会ホームページ制作に伴う法人情報調査

※本事業は令和元年度に引き続き、「令和 2 年度福岡県小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」(実施主体：福岡県社会福祉協議会) の指定を受けて実施。

②ふくおかライフレスキュー事業による生活困窮者等支援

支援者	支援内容	現物給付額	備考
20 代女性	同居家族からの DV 被害が疑われる女性の転居支援	100,000 円	アパート入居時費用
50 代女性	生活ゴミで溢れた環境に暮らす独居女性の環境整備支援	23,540 円	廃棄物処理費用

2. 地域福祉事業

誰もが安心して暮らすことができる「ふくしのまちづくり」を基本理念とし、住民とともに行政等関係機関と連携を図りながら、地域福祉活動の推進、充実に取り組みました。

(1) 地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進

広川町の地域福祉計画と連携する民間の活動計画である「第2期広川町地域福祉活動計画」の策定に向けて策定委員会を設置し、第1期計画における活動の効果と課題の検証、これからの民間による地域福祉の推進について協議を重ね、新しい基本理念を「わたしたちが共に生きていくために一人ひとりの『気づき』と『工夫』で創り出す安心できる暮らしの実現」とする第2期広川町地域福祉活動計画を策定いたしました。



第2期広川町地域福祉活動計画策定委員会

(2) 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けた取り組み

①生活支援コーディネーター設置事業、介護予防・地域支え合い事業（町受託）

介護予防や生活支援を担う社会福祉法人、NPO、民間企業、ボランティア等の様々な主体と連携しながら、多様な支援体制を構築していくことを目的に、生活支援コーディネーターを設置し、広川町高齢者等生活支援体制整備協議会等への参画を柱に、地域資源の把握やニーズ分析を行い、高齢者等の介護予防・生活支援の基盤整備に取り組みました。

令和2年度は、「買い物支援」の体制づくりに取り組み、行政と企業の協定締結に基づく移動店舗販売がスタートいたしました。

また、介護予防サポーターと地域との協働による介護予防活動「地域通いの場」の推進、生活支援を目的とするボランティア活動「くらしのサポーター『くらサポ』」の創設など、住民主体の地域福祉活動の充実に取り組みました。

■移動店舗販売実施地域（令和3年3月31日現在）

上広川（7）	逆瀬谷、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、吉常、長延上
中広川（10）	太原、清楽、清楽茶屋、高間、増永、太田、吉里、長徳、緑ヶ丘、北新代
下広川（4）	牟礼、当条、智徳、藤田
合計	21行政区 26箇所

（協力事業所）エフコープ生活協同組合、移動スーパーとくし丸



買い物支援（移動店舗販売）



地域通いの場

②認知症施策総合推進事業（町受託）

認知症の人とその家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や様々な専門機関と連携した支援体制づくりに取り組みました。

推進員による認知症理解の普及啓発	2回	扇島サロン、社協職員研修
認知症サポーター養成講座協力	1回	広川町民生委員児童委員協議会
相談件数	48件	

（3）高齢者福祉の推進

①高齢者いきいきサロン支援事業（町受託）

住民主体の寄り合い活動である「サロン活動」を支援し、地域のつながりづくり・介護予防の推進に取り組みました。

■サロン活動実施地域（令和2年3月31日現在）

上広川（8）	逆瀬谷、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、六田、吉常、長延上下
中広川（13）	太原、久泉、扇島、吉里、川瀬、長徳、古賀、川瀬北、緑ヶ丘、北新代、清楽茶屋、太田、増永
下広川（1）	智徳
合計	22サロン

■サロンの運営、立ち上げの支援

職員延派遣回数	82回
講師等コーディネート数	59件
サロン運営、立ち上げに関わる相談支援	121件

②ふれあいいきいきサロン・地域通いの場助成事業

高齢者等の閉じこもりや孤立予防を目的とした「サロン活動」と高齢者の転倒予防や筋力低下を予防することを目的とした「地域通いの場」との運営及び立ち上げ等にかかる経費の財政支援を行い、活動の更なる充実に取り組みました。※令和元年度より、町からの助成が開始されました。

助成金種別	助成額	備考
サロン活動運営費助成	781,500 円	逆瀬谷、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、六田、長延上・下、太原、清楽茶屋、久泉、増永、扇島、太田、吉里、川瀬、長徳、古賀、北新代、智徳 計 19 地区
通いの場運営費助成	201,000 円	長延上・下、久泉、当条、藤田 計 4 地区
合 計	982,500 円	

③ひとり暮らし高齢者のつどいの開催（第 40 回）

ひとり暮らし高齢者の孤立予防を目的とした、「ひとり暮らし高齢者のつどい」を開催しています。

※本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止いたしました。

④合同金婚式の開催（第 42 回）

結婚 50 周年を迎えられたご夫妻をお祝いするため、「合同金婚式」を開催しています。

※本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止いたしました。

（４）当事者課題への支援

①家族介護教室及び家族介護者交流事業（町受託）

介護当事者グループと協働し、介護教室や介護者同士の交流会・情報交換会を行い、介護を一人で抱え込まない支援体制づくりに取り組みました。

■家族介護教室の開催

開催日	開催内容	参加人数
令和 2 年 11 月 10 日（火）	<p>知っ得！みんなの暮らし講座①</p> <p>テーマ『介護の力をともに考える家族介護教室①～これからの「私」どう生きる？～』</p> <p>講師：九州大谷短期大学 福祉学科教授 塚本真由美 氏 専攻科福祉専攻講師 小川理沙 氏</p>	12 名
令和 2 年 11 月 24 日（火）	<p>知っ得！みんなの暮らし講座②</p> <p>テーマ『介護の力をともに考える家族介護教室②～笑顔で健康管理～』</p> <p>講師：九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻教授 森永牧子 氏 幼児教育学科准教授 永山寛 氏</p>	6 名

会場：広川町保健・福祉センターはなやぎの里 3 階 多目的ホール

■家族介護者交流事業

介護者カフェの開催

※認知症カフェ運営事業と一体的に行う事業として実施いたしました。

介護者のつどいの開催

在宅で介護をしている人が、日々の介護から少し離れ、交流を通して心身共にリフレッシュできる場として、「介護者のつどい」を開催しています。

※本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止いたしました。

②認知症カフェ運営事業（町受託）

認知症の人やその家族、介護者、地域住民、介護や福祉の専門職等が集う「なのはなカフェ」を開催し、参加者同士の情報交換や専門職への相談を通して、当事者やその家族が暮らしやすい地域づくりに取り組みました。

「なのはなカフェ」の開催

開催回数	10回
延参加者数	51人



なのはなカフェ



家族介護教室

③母子・父子世帯親子招待会の開催

ひとり親家庭の地域での孤立予防と、親子の思い出づくりを目的に、「母子・父子世帯親子招待会」を開催しています。

※本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止いたしました。

④車椅子貸与事業

日常生活で、緊急的・一時的に車椅子を必要とする方に、介護負担・経済的負担の軽減を目的に、無料で車椅子の貸与を行いました。

車椅子台数	13台
貸与件数	27件

（5）福祉教育・福祉学習の推進

■福祉教育教材『ともに生きる』の配布、活用

福岡県社会福祉協議会が作成した福祉教育教材『ともに生きる』を町内の小学校に配布し、福祉教育・福祉学習の推進に取り組みました。

配布対象者	上広川小学校、下広川小学校 5年生 中広川小学校 4年生
配布数	195冊（上広川小学校 47冊、中広川小学校 109冊、下広川小学校 39冊）

（6）愛のネットワーク活動助成事業

民生委員児童委員の地域福祉活動に対して助成金を交付し、地域の支え合いの仕組みづくりの推進に取り組みました。

(7) 相談・支援事業

① 広川町高齢者心配ごと相談事業（町受託）

日常生活上のあらゆる相談に応じ、内容に応じた福祉サービスの案内・紹介、関係機関へのつなぎ等を行い、心配ごとの早期対応に取り組みました。

開催日数	22日	毎月隔週水曜日（9：00～15：00）
相談件数	6件	相談内容：財産、老人福祉、障がい者児福祉、家族、健康・衛生

② 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支援し、地域での生活と社会参加を図ることを目的とした貸付制度の相談窓口として、他機関と連携した支援に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年3月23日より受付が開始された「生活福祉資金特例貸付」の相談窓口として、体制を強化し相談支援に取り組みました。

通常貸付

借受件数	9件	緊急小口6件、教育支援3件
------	----	---------------

特例貸付

申請件数	354件	緊急小口149件、総合支援120件、延長67件、再貸付18件
申請者数	156件	
総申請額	136,020,000円	

※特例貸付は、受付開始から令和3年3月末日までの件数を記載しております。

③ 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が不十分なため、日常生活でお困りの人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理の支援に取り組みました。

新規契約者	2人
令和2年度末現在の支援者数	6人

④ 生活困窮者緊急食料支援事業

生活資金に困窮し、食料支援が必要な人に対し、生活保護や生活福祉資金の貸付等、次なる支援までの間の緊急的な食料支援を行いました。

また、備蓄食料はフードバンクくるめ、株式会社セブン&アイホールディングス、一般寄付など様々な団体や企業、地域の皆さまにご協力いただき、安定的な供給体制の構築に取り組みました。

食料支援実績	84件	
食料協力実績	28件	一般19件、フードバンクくるめ8件、株式会社セブン&アイホールディングス1件

3. 在宅福祉サービス事業

住民の在宅生活を支えるため、在宅福祉サービスの提供に取り組みました。また、関係機関と連携し、サービス調整を図りながら、総合的なケア体制の充実に取り組みました。

(1) 介護保険事業

①居宅介護支援（ケアマネジメント）事業

介護保険法に基づき、ケアマネジャーの介護相談、ケアプランの作成による適切な在宅福祉サービスの利用支援、各種在宅福祉サービスの申請代行等に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	38人	△15人
介護保険	813人	15人
合計	851人	0人

②訪問介護（ホームヘルプ）事業

介護保険法に基づき、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、身体介護や家事支援、生活等に関する相談、その他必要な日常生活上の支援に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	109人	22人
介護保険	98人	△36人
合計	207人	△14人

③通所介護（デイサービス）事業

介護保険法に基づき、デイサービス利用者に対し、日常生活上の支援や生活機能訓練などを行い、利用者の心身機能の維持向上と、家族介護者の支援に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	312人	△280人
介護保険	4,174人	762人
合計	4,486人	482人

(2) 障害者総合支援事業

①居宅介護（ホームヘルプ）事業

障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定を受けた障がい児・者に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、身体介護や家事支援、生活等に関する相談、その他必要な日常生活上の支援に取り組みました。

延利用者数	前年度比
49人	△9人

(3) 町受託事業

① 広川町介護予防教室いきいき元気教室事業

高齢者の介護予防を目的とし、健康体操や認知症予防の脳トレ学習、レクリエーションを楽しみながら行う通所型の介護予防教室として、参加者同士のふれあいを通じて、高齢者の閉じこもり予防、生きがいづくりに取り組みました。

延利用者数	前年度比	備考
3,470 人	△1,586 人	新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の休止期間 令和 2 年 3 月 30 日～6 月 30 日

② 広川町生活管理指導員派遣（ホームヘルプ）事業

一時的に在宅での家事等が困難な人に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、日常生活の支援に取り組みました。

延利用者数	前年度比
267 人	△19 人

③ 広川町在宅介護支援センター運営事業

在宅で介護が必要な人、ひとり暮らしや認知症等で暮らしに不安がある人、またその家族からの介護相談に応じ、福祉サービスの案内・紹介、関係機関へのつなぎ、介護・福祉サービスの申請代行等の支援に取り組みました。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の実態把握のため訪問を行い、高齢者の生活課題の早期発見・早期対応に取り組みました。

相談実件数	161 件
実態把握件数	395 件

④ 広川町介護予防事業等アセスメント事業

広川町が実施する介護予防事業等の利用申請者において、各事業の要綱に規定する対象者として決定するための聞き取り調査（事前評価：アセスメント）を実施いたしました。

延実施者数	備考
15 人	いきいき 11 人、生活管理 4 人

4. 指定管理経営事業

広川町保健・福祉センターはなやぎの里の指定管理者として、施設・機能の充実による利用の促進を図るとともに、適正な管理・経営に努めました。

① 広川町保健・福祉センター管理・経営事業

■ 利用実績（休憩室・入浴・健康器具利用者、貸出部屋利用件数）

利用種別	利用者数	前年度比	備考
休憩室・入浴 ・健康器具	5,570 人	△2,854 人	町内 5,297 人、町外 273 人
貸出部屋	748 件	65 件	

5. ボランティア活動促進事業

広川町における総合的なボランティア活動の推進を目的に、広川町ボランティア活動センターの運営、災害ボランティアに関する事業等に取り組みました。

(1) ボランティア活動センター事業

ボランティア活動センター“よかよか”をボランティア活動促進の拠点として運営するとともに、ボランティア活動の普及・啓発、ボランティアの育成及びボランティア活動の支援、ボランティア団体相互の連携促進、サロン活動の充実等を目的とした事業に取り組みました。

■ボランティア活動センター運営実績

開館日数	243日
ボランティア団体登録数	33団体
個人ボランティア登録数	21人
利用者数（来館者数）	750人
ボランティアコーディネート件数	4件
相談件数	98件

■ボランティア保険等加入実績

ボランティア保険	101件	活動保険57件、行事用保険41件、福祉サービス総合補償1件、送迎サービス補償2件
----------	------	--

■ボランティア活動の普及・啓発に関すること

- ・『広報ひろかわ』紙面によるボランティア出前講座の実施（5回シリーズ）
- ・町「子どもの遊び場実行委員会」への参画とボランティア団体「遊び場サポータークラブ」の立ち上げ支援
- ・制度の狭間にある暮らしの困りごとを支援するボランティア「くらしのサポーター『くらサポ』」の立ち上げ支援
- ・ボランティア活動センターパンフレットの制作

(2) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

シニア世代が健康で生きがいを持ち、豊かな経験や知識・技術を活かして積極的に社会参加できる環境づくりを目指し「いきがいと健康づくり講座」を開催いたしました。

■いきがいと健康づくり講座の開催

開催日	内容	参加人数
令和2年 11月18日(水)	片付けたくなる！物の捨て方・活かし方～シニア世代のシンプルライフ 講師：暮らし美人化計画ハウスキーピング San 代表・整理収納コンサルタント 里館友子 氏	33名
令和2年 12月4日(金)	椅子に座ったリラックスヨガと植物の香りで心身ともにリフレッシュ♪ 講師：Ototsumugi 株式会社 代表・健康運動指導士 倉地摩紀子 氏	28名

会場：広川町保健・福祉センターはなやぎの里 3階 多目的ホール

(3) 災害ボランティアに関すること

令和2年7月豪雨における福岡県内社会福祉協議会の災害支援として、「大牟田市災害ボランティアセンター」に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営及び災害ボランティア活動の支援を行いました。



大牟田市災害ボランティアセンター運営支援

6. 福祉関係団体支援事業

福祉関係団体と連携を図りながら、よりよい「ふくしのまちづくり」を目指して、福祉関係団体の活動支援、協働体制づくりに取り組みました。

■支援団体の概要

団体名	委員数・会員数	備考
広川町民生委員児童委員協議会	40名	
広川町老人クラブ連合会	2,214名	29クラブ
広川町身体障害者福祉協会	121名	
広川町遺族会	195名	
広川町心身障害者（児）父母の会	12会員家族	
広川町母子寡婦福祉会	40名	

7. 広報・啓発活動事業

地域福祉の情報が効果的に得られるよう、広報誌やホームページ、福祉イベントへの参加など、様々な手段を用いて広報の充実に取り組みました。

方法	内容
『社協だより』	6月、9月、12月、3月の年4回発行（全戸配布）
『広報ひろかわ』	寄付等報告、各種事業・企画の開催案内 など
社協ホームページ	新着情報、各種事業の概要、各種申請書（ダウンロード版） など URL hirokawashakyou.jp
SNS (facebook)	新着情報、地域活動の紹介 など URL facebook.com/hirokawashakyou.fukuoka/
広報テープ貸与	朗読ボランティア広川テープの会の協力により、『広報ひろかわ』『社協だより』を音訳・録音し、視覚に障がいのある人への貸出を実施

8. その他

本会の地域福祉事業の推進に対し、新型コロナウイルス感染症対策及び災害支援等物資として、様々な団体・企業・地域の皆さまから多大なるご支援、ご協力をいただきました。

■物品等の寄贈をいただいた皆様 ※五十音順

- ・川瀬女性の会：災害支援物資（生活用品）
- ・福岡県宅建協会南支部様：アルコール消毒液 12 本
- ・八女青年会議所（八女 JC）様：久留米紺仕様布マスク 88 枚
- ・八女青年会議所（八女 JC）様：災害支援物資（スーパー次亜水）
- ・八女筑後労働者福祉協議会様：タブレット機器（iPadAir）2 台



福岡県宅建協会様（アルコール消毒液）



八女青年会議所様（紺仕様マスク）